科目名		授業形態	授業形態 担当教員名						
実習前特別講義 I				講義			西田 和子・石井 喜代香 今井 絵美子・高橋 朋佳・太田 信子		
時間数(単位数)				授業回数		年次		開講時期	
30	時間	(1 単位)	15	口	1	年次	後期	

|授業の目的・概要

障害児の評価・訓練を行なうためには、健常児の発達の実際を知ることが不可欠である。 また子ども達と関わる力がなくては、評価・訓練を行なうことはできない。実際に健常児に関わることによって これらを学ぶ。成人言語障害当事者との対話を通して、症状の実際と当事者の心理を学ぶとともに、言語聴覚士 に求められている臨床能力を知る。

授業の到達目標

備考

コミュニケーション障害者とのコミュニケーションには経験と技術が不可欠である。実習前に少しでも経験を得

るこ	.とにより	、技術⊄	り習得を目的とする。							
口	内容									
1	健常児の発達の実際 I									
2	健常児の発達の実際 I									
3	健常児の発達の実際 I									
4	健常児の発達の実際 I									
5	コミュニケーション障害者とのコミュニケーションの実際 I									
6	コミュニケーション障害者とのコミュニケーションの実際 I									
7	コミュニケーション障害者とのコミュニケーションの実際Ⅱ									
8	コミュニケーション障害者とのコミュニケーションの実際Ⅱ									
9	健常児の発達の実際Ⅱ									
10	0 健常児の発達の実際Ⅱ									
11	は健常児の発達の実際Ⅱ									
12	2 健常児の発達の実際Ⅱ									
13	3 健常児の発達の実際Ⅲ									
14	14 健常児の発達の実際Ⅲ									
15	健常児の	発達の第	実際Ⅲ							
	の評価法									
	種別	割合	評価基準・その他備考							
	期試験									
	ポート									
	小テスト 100% 川麻 」 は 1 体できず 肝									
	平常点 100% 出席、レポート等で評価 その他 - この他									
	由記載									
教科										
書名					著者・編集者名	出版社名				
	由記載									
	文献				I	Lugare				
書名					著者・編集者名	出版社名				
自	由記載									